



安養市

ANYANG



協定等の種類

姉妹結縁調印

協定等の年月日

1986年4月17日



大韓民国京畿道
首都ソウル特別市に隣接
仁川国際空港から車で約1時間



概要

安養という名は、高麗の太祖王建によって創建された安養寺（10世紀）に由来し、仏教における極楽浄土の理想郷を意味します。冠岳山、修理山、三聖山に囲まれ、安養川、三聖川、鶴儀川などが流れる豊かな自然の中、森林浴などのレジャーを楽しむことができます。

「市民とともに歩む幸福なスマートシティ安養」を掲げ、最先端情報産業のスマートタウン造成など先進的なベンチャー都市へと発展しています。

マーク

市章は、青色が平和と市民の安定した生活、白色が民族の純潔を象徴し、輝く太陽と市民の団結を象徴する丸の中に、新芽と科学、工業発展、安養周辺の名山観光地や美しい自然がデザインされ、四方へ伸びる希望に満ちた発展、文化的交流を表しています。

また、都市ビジョンを表したロゴマークはメビウス帯とハートが描かれ、ブルーは最先端と若さ、ピンク・イエローは幸せな都市を築いていく安養の約束と情熱、幸福を意味しています。

小牧地区日韓親善協会

昭和54年に「日韓両国民の理解と親睦を深め、両国の平和と繁栄に寄与する」ことを目的に発足しました。昭和61年には安養市韓日親善協会との姉妹結縁に調印し、現在まで相互に訪問するなど、安養市との交流を支える民間団体です。



安養市と小牧市の交流

- 1979 小牧地区日韓親善協会 発足
- 1985 小牧市制30周年記念式典 4人が訪日
- 1986 日韓・韓日親善協会 姉妹結縁調印
- 1987 両市青年会議所が姉妹結縁調印
- 1992 安養市行政研修 3人が訪日
- 1995 職員サッカー交流 小牧市職員等23人が訪韓
- 1996 職員サッカー交流 安養市職員等40人が訪日
- 1998 児童交流開始
 - 小学生32人を含む小牧市訪問団38人が訪韓 ホームステイ実施
 - 小学生32人を含む安養市訪問団38人が訪日 ホームステイ実施
- 1999 安養市長等15人が訪日
- 2000 小牧市長、市議会等14人が訪韓
- 2001 教科書問題により児童相互交流中止
- 2005 教科書問題により児童相互交流中止
- 2009 新型インフルエンザにより児童相互交流中止
- 2011 東日本大震災により児童相互交流を中止
- 2013 安養市制40周年記念式典 小牧市長等14人が訪韓
- 2015 小牧市制60周年記念式典 安養市長等59人訪日
- 2017 国際情勢の緊迫化により児童相互交流を中止（再開未定）
- 2023 安養市制50周年記念式典 小牧市副市長等9人が訪韓
- 2025 小牧市制70周年記念式典 安養市職員4人訪日

児童相互交流

小牧市小学生と安養市小学生が夏休み期間に相互訪問しホームステイを体験（平成28年度は3泊4日）。日韓親善協会が主体で開始した交流事業で、平成10年度より市主催になり毎年実施。国際情勢により平成29年度より中止しています。